

V 期 終 活 期 (追記)

令和4年(二〇二二) 81歳

- ・ 正月12日、道徳科学研究センターに出勤し共同研究『皇室野史』の再発見の初回報告を行う。

※『皇室野史』の再発見：27歳の廣池千九郎博士が京都で「史学普及雑誌」を発行する傍ら明治26年(一八九三)出版された『皇室野史』は、武家時代(中世近世)における皇室と国民の関係を解明しようとした鋭い着眼の労作である。その引証史料再検証するため、橋本・久禮両氏と三年計画を立て共同研究を始めたが、私としては道科研で最後の研究発表となった。

※寄贈宸翰の展示：その午前、井出副理事長から感謝状を頂き、記念館で展示品を解説した。

- ・ 2月9日、渡辺允元侍従長(85歳)の訃報に驚く。

※渡辺允元侍従長を悼む：平成10年(一九九八)高

橋紘氏との共著『皇位継承』(文春新書)を出す前後から何度も招かれ教示を賜わった同氏は、退職後の同23年(74歳)『天皇家の執事』文春文庫版の後書きに、天皇陛下の御心痛を直叙し、皇族女子が結婚後も皇室に留まれる法改正の必要性を明記された。それが実現すれば、満20歳とられた敬宮愛子内親王(3月17日見事な記者会見)の宮家創立も可能になる。なお、毎日新聞N記者の配慮により追悼記事を寄せた(3月21日朝刊掲載)。

- ・ 3月19日、大垣北高の多機能教室寄贈記念式典に出席。午後、汗青会公開セミナーで講演。

※寄贈記念式典：昨年度寄贈した多機能教室を見学し、紺綬褒章と感謝状を頂く記念式典に出席した。  
※汗青会セミナー：大垣市サイトピアセンターで第11回セミナーを開き、「梁川星巖と紅蘭 おしどり夫婦の功績」について講述した。